

大谷地況、シラカ沢

1981年8月30日

滑谷沢右俣左沢

滑谷沢右俣左沢に入る。最初は川原状、続いて滑谷沢左俣上流のような青みがかかったナメ床が続く。しばらくナメ床を遡ると、1164mピークより派生している尾根によって沢が二分され、右側の沢には4mの滝がかかっている。この滝の左岸を登ると沢は左に曲がり、正面に30mのナメ滝を落している。それを越すと小さな滝がいくつか現われ、水もかかっている。左側にヤブをこぎ尾根を越えて、先ほどわかれた左沢の下降に移る。

左沢には右沢ほど顕著な滝もなく、苦労することなく合流点に着く。

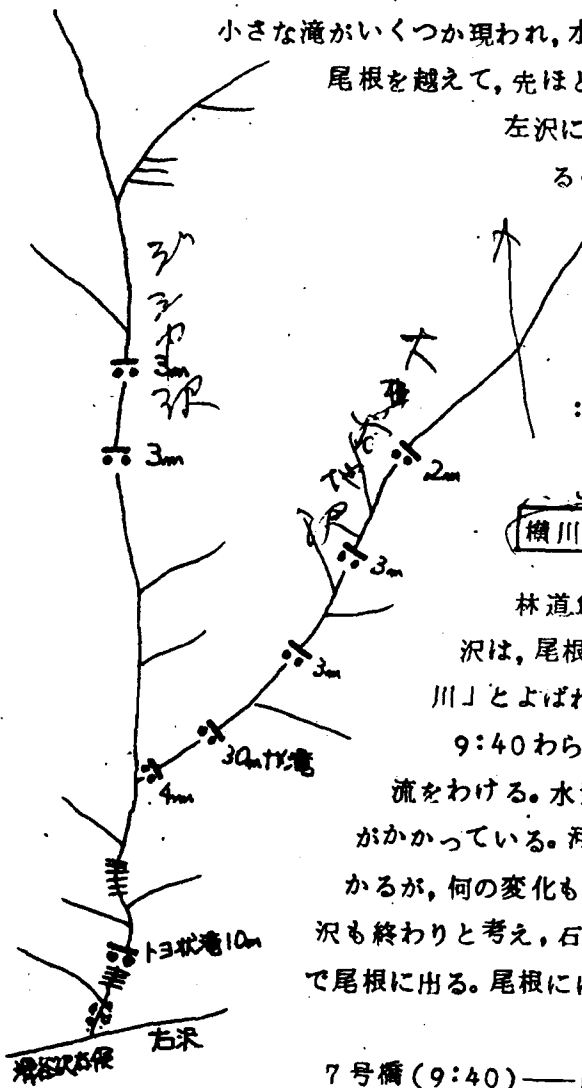
(記。)

滑谷沢右俣左沢分岐 (9:50)

) — 二俣 (10:20) — 尾根

(11:30, 12:00) — 二俣 (12

:40)



滑谷沢右俣左沢

(作図・萩原)

横川(鳥川支流)

1981年8月29日

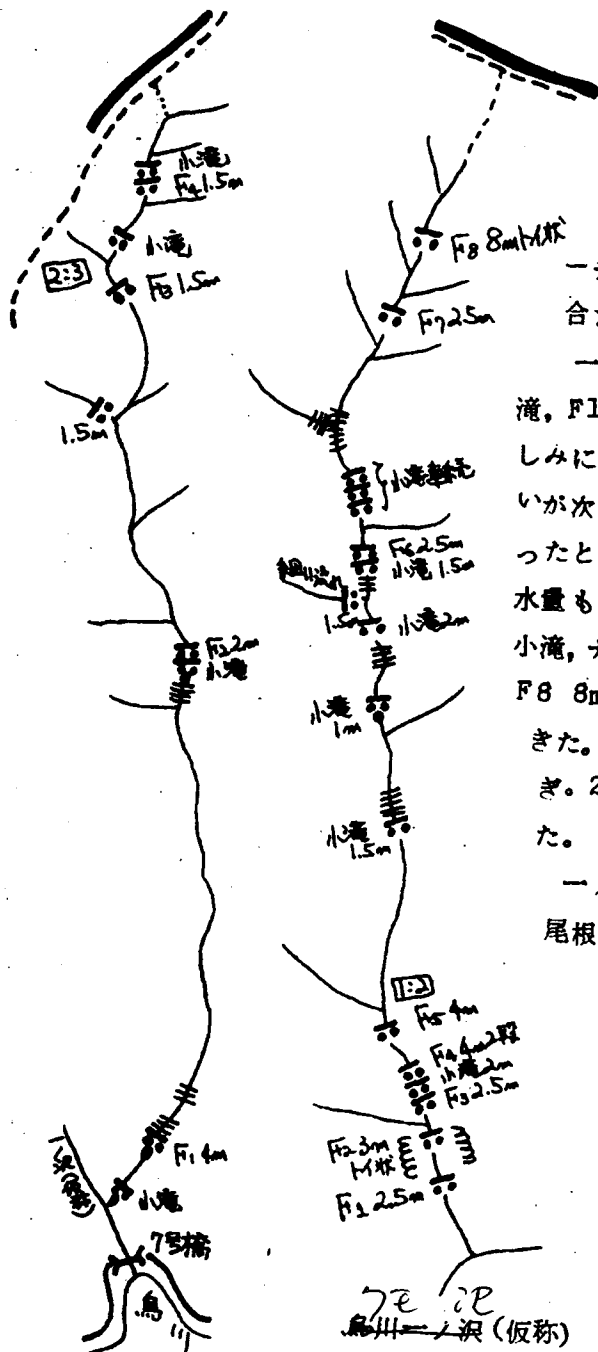
L

林道鳥川線の7号橋から沢に入る。この沢は、尾根1つ越えた小川支流と同じく「横川」とよばれている。

9:40わらじをつけて出発する。すぐ左に支流をわける。水量は右の本流の方が多い。小さな滝がかかっている。河原が続く。時々2~4mの滝がかかるが、何の変化もない。12:45、地形から判断して沢も終わりと考え、石岸の尾根に向かって登る。5分程で尾根に出る。尾根には廃道化した道があった。

(記。)

7号橋 (9:40) — 終了 (12:20) — 尾根 (12:25)



横川 (作図：和泉)

7元沢 1981年8月29日
鳥川一ノ沢 (仮称) I

林道を栢松沢出合まで歩いてから沢に入る。鳥川本流を西・安藤パ
ーティと一緒に鳥川一ノ沢(仮称)出
合まで歩く。12:45, 出合着。

一ノ沢(仮称)に入るとすぐ2つの小
滝, F1 2.5m, F2 3mがかかり, 先が楽
しみになってくる。続いてF3, F4と小
さいが次々にあらわれる。沢が逆S字に曲が
ったところにもF5 4m。ここまでくると
水量もだいぶ少くなり源流のようである。
小滝, ナメのくり返すなかをなげも登る。
F8 8mトイ状を越える。水も無くなって
きた。最後の二俣を右に入り, すぐやぶこ
ぎ。20分程で, ふみあとのある尾根に出
た。

(記)

一ノ沢(仮称)出合(12:45) —
尾根(14:35)

7元沢 1981年8月29日
西川(下降) L1

13:40 下降開始。20分程下ると
沢の源頭に出る。最初は1~3mの
小滝が続く。やがて, 10m程の二段
滝が出てくるが, フリーで下るこ
とができる。この下も2~5mの
滝が連続するが, ザイルは必要な
く楽に降りれる。15:45, 二俣。
もう沢も終わりに近い。5分程で

7元沢
鳥川一ノ沢(仮称)
(作図：宍戸)